



## 安全に正しくお使いいただくために

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。



**警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 警告図記号の説明例



名称：感電注意（高圧注意）  
意味：特定の条件下において、感電の可能性を示すもので、図の中に具体的な注意内容が描かれています



名称：分解禁止  
意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています

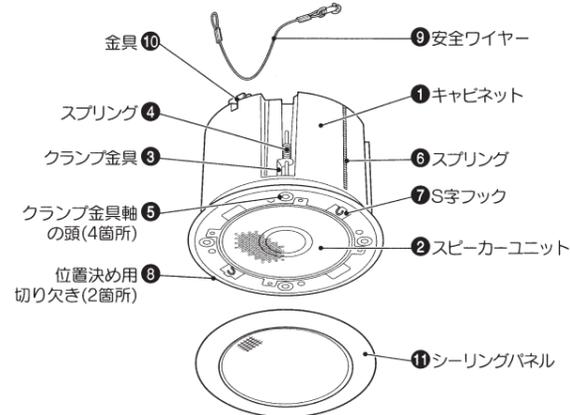


名称：電源プラグをコンセントから抜く  
意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので図の中に具体的な指示内容が描かれています

## 特長

- このスピーカーは、天井高 4～7m で使用することを目的として開発したシーリングスピーカーです。
- 20cm ウーハーと指向角度 60° 丸形ホーンツイーターを使用した高能率のコアキシャルスピーカーにより、十分な音圧と軸対称の指向特性が得られます。
- スプリングクランプ方式により、取付工事が天井板下側より簡単に行なえます。
- ハイインピーダンス用スピーカーラインにそのまま接続できるカップリングトランス（10W、30W）付きです。入力接続切り換えにより、ローインピーダンス（8Ω）仕様にも対応できます。
- 別売のスピーカーブラケット PS-SU215 により、吊りボルトを使用してスピーカーを設置することもできます。

## 各部の名称



## 設置上のご注意



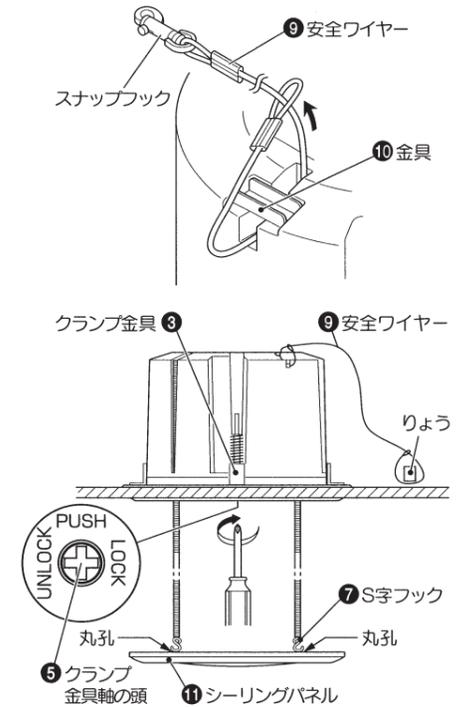
- 設置については技術を必要としますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。高所での設置作業となり大変危険です。
- 構造的に弱い場所に設置しない。  
PS-S215B の質量は 5.3kg です。設置場所は、スピーカーの質量に十分耐えられる構造の所に設置してください。構造的に弱い場所には、補強材をあてるなどして十分に補強してください。



- 湿気、ほこり、油煙の多い場所に設置しない。  
火災、故障の原因になることがあります。
- 取り付けの締め付けは確実に行う。  
取り付けネジやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。

## 設置方法

- 天井板にφ 260mm の孔をあけます。
- 付属の設置用補助板をたんで天井裏へ入れ、中で開いて天井孔に合わせて置きます。  
※天井孔より設置用補助板が見えないように置いてください。
- 付属の安全ワイヤー⑨を本体裏面の金具⑩へ図の様に取り付け、反対側を天井のりょう等に巻きつけ、スナップフックで固定します。
- スピーカーコードを入力ターミナル⑫に結線します。（接続方法を参照）
- 天井孔に本体を入れ、天井板に押しつけます。
- プラスドライバーをクランプ金具軸の頭⑤（4箇所：LOCK-UNLOCK の表示あり）へ差し込み、時計回りの方向へ約 90° まわします。クランプ金具③が飛び出し、スプリング圧力で天井板とドーナツ状補助板をはさみ込み、本体が固定されます。（押し込み反時計回りで LOCK 解除します）
- 本体の S 字フック⑦（2箇所）を引っ張り出し、シーリングパネル⑪の丸孔（2箇所）に掛け、天井板に密着するように取り付けます。

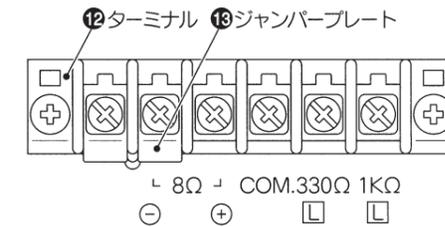


### ご注意

天井板のつなぎ目にスピーカーを取り付けたり、天井の縁を切ってスピーカーを設置した場合、天井の強度が十分に得られず、スピーカーの質量により天井板が反り、シーリングパネルとの間にすき間があくことがあります。この様な場合、別売りのブラケット PS-SU215 を使用し、吊りボルトにて取り付けてください。

## 接続方法

- 入力線はターミナルの刻印表示に従って接続してください。
- 8Ω でご使用になる場合は、ジャンパープレート⑬を取りはずしてください。
- 複数のスピーカーをハイインピーダンス用アンプに接続する場合は、⊕、⊖（COM）の極性を必ず合わせ、並列接続にしてください。スピーカーの合成インピーダンスは、アンプの出力インピーダンス以上でお使いください。アンプの出力インピーダンス以下になりますと、アンプの故障の原因となります。



## 使用上のご注意



- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするときは、すぐにパワーアンプの電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る。  
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですからおやめください。
- この機器を分解・改造しない。  
火災感電の原因となります。



- 梱包箱や梱包袋などは、お子様などが遊びに使わない様注意する。  
遊びに使ったりするとけがや窒息することがあります。